



## 木村 哲 就

きむら・てつなり

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子情報研究部門 助教



京都大学大学院工学研究科で学位取得後、大阪大学、カリフォルニア工科大学博士研究員を経て平成21年12月より古谷グループに加わりました。これまでは球状蛋白質のフォールディング機構の実験的研究を行ってきました。今後は、実験環境の整った分子研で研究を行える機会を最大限に活かして、膜蛋白質の構造・機能相関およびフォールディング研究を進めて行きたいと思っております。

よろしくお願ひいたします。

## 王 志 宏

WANG, Zhihong

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子情報研究部門 研究員



After get my Ph. D at March of 2003 from Sokendai under guidance of Prof. Urisu, I worked in Urisu group 1 year as a research assistant professor. Then I moved to Nagoya University and worked there about 3 years as a post-doctoral fellow. Then I moved to Ruhr University, Bochum, Germany and worked there about 3 years as a post-doctoral fellow. Now I came back to Urisu group as a post-doctoral fellow again. The research is completely different with before since we have changed to biological field from formal surface science. This is new and fascinating field since we are studying living cell now. I will work hard as before and hope we can get interesting results.

## 藤 貴 夫

ふじ・たかお

分子制御レーザー開発研究センター  
先端レーザー開発研究部門 准教授



2010年2月より分子研に着任しました。これまで、様々な波長の超短光パルスレーザーの開発と、それを使った超高速分光をやってきました。分子研でスタートする研究室では、分子科学に新しい展開を生み出すような、新規な超短光パルス光源をつくりたいと考えています。他の光分子科学研究領域のグループとも協力して研究を進めていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひ致します。

## 松 波 雅 治

まつなみ・まさはる

極端紫外光研究施設  
光物性測定器開発研究部門 助教



神戸大学にて学位取得後、理研/SPring-8にて基礎科学特別研究員、東大物性研にて学振特別研究員を経て、分子研UVSORの木村グループに助教として着任しました。これまでは主に赤外線とX線を利用した固体物理の研究をしてきましたが、今後は真空紫外線を利用した新しい研究に挑戦していきます。

よろしくお願ひいたします。

## 岩 山 洋 士

いわやま・ひろし

極端紫外光研究施設  
光化学測定器開発部門 助教



4月よりUVSOR 繁政グループにお世話になっております。大学では放射光や自由電子レーザー光を利用して、分子やクラスターの解離現象の研究を行っていました。こちらでは、新しい光電子分光装置の開発研究を通して放射光科学や分子科学の発展に貢献していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

## 大 津 英 揮

おおつ・ひでき

生命・錯体分子科学研究領域  
錯体物性研究部門 助教



平成22年4月より、(再び)<sup>2</sup>田中グループにお世話になり、この度、助教として着任致しました。

今後も、恵まれた研究環境のもと、日々、楽しんで研究に取り組み、錯体化学力による、再生過程を有する相互エネルギー変換科学を創成したいと思っております。

どうぞよろしくお願ひ致します。

## 谷 生 道 一

たにお・みちかず

物質分子科学研究領域  
分子機能研究部門 特任助教



姫路工業大学にて博士課程修了後、日本学術振興会、三菱化学(株)、(株)三菱化学生命科学研究所の特別研究員を経て、4月1日より西村グループの特任助教として着任致しました。大学ではプロトン輸送膜タンパク質、会社では創薬応用を目指したヒト病因関連タンパク質の構造機能研究に従事しておりました。これまでの経験を活かしつつ、新たな研究展開を目指して行きたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

## 中 村 敬

なかむら・たかし

岡崎総合バイオサイエンスセンター  
戦略的方法論研究領域 特任助教



富山医科薬科大学大学院薬学研究科にて学位を取得後、東京大学、岡崎総合バイオサイエンスセンター博士研究員を経て、平成22年4月1日より同職に着任いたしました。最近タンパク質のフォールディング中間体の構造特性とフォールディング中間体-オレイン酸複合体の抗腫瘍細胞活性という機能発現との関係についてNMRを用いて研究をしております。

よろしくお願い致します。

## 森 龍 也

もり・たつや

極端紫外光研究施設  
光物性測定器開発部門 研究員



東北大学理学研究科にて学位取得後、平成22年4月から分子研UVSORの木村グループに博士研究員として着任しました。これまではテラヘルツ時間領域分光という手法を用いて、ラットリングフォノンに対する光学伝導度測定による物性研究を行ってきました。木村グループでは、放射光を利用した赤外分光を初めとする様々な分光手法を用いて、物性研究を進めたいと思っております。

よろしくお願い致します。

## 北 原 宏 朗

きたはら・ひろあき

分子スケールナノサイエンスセンター  
ナノ分子科学研究部門 研究員



総合研究大学院大学物理科学研究科にて学位取得後、4月より引き続き櫻井研究室で研究員としてお世話になっております。

これまでは、金ナノクラスターを用いた触媒反応に関する研究を行ってきました。今後「クラスター化学」と櫻井研究室の「バッキーボウルの化学」を組み合わせ、研究をしたいと思っております。

よろしくお願い致します。

## 長 岡 靖 崇

ながおか・やすたか

生命・錯体分子科学研究領域  
生体分子情報研究部門 研究員



東京大学理学系研究科博士課程より平成22年4月から分子科学研究所宇理須グループに研究員として着任いたしました。グループで行われている生細胞のチャンネル電流計測は初めて触れる分野ですが、これまで学んできた分子生物学研究の経験を活かしながらグループの研究の一助となれるよう頑張りたいと思っております。

よろしくお願い致します。

## 周 海峰

ZHOU, Haifeng

生命・錯体分子科学研究領域  
錯体触媒部門 研究員



I graduated from Institute of Chemistry, Chinese Academy of Science and Sun Yat-Sen University (Joint-education) and received my PhD degree in July, 2007. Then I had a job as a senior researcher and group leader in a pharmaceutical company in Shanghai, China. I joined Prof. Uozumi's group as a postdoctoral fellow in April, 2010. My current research interests are focusing on the transitional-metal-complex catalyzed asymmetric C-C coupling reaction in benign solvent.

どうぞよろしくお願い致します。



NEW STAFF

## 新人自己紹介

## 植草 義徳

うえくさ・よしのり

岡崎統合バイオサイエンスセンター  
生命環境研究領域 日本学術振興会特別研究員

静岡県立大学大学院生活健康科学研究科にて学位取得後、4月1日より学振特別研究員として岡崎統合バイオサイエンスセンターの加藤グループに加わりました。これまでに、NMR法を用いた生体成分の分子間相互作用メカニズムに関する研究を行ってきました。この恵まれた研究環境を活かし、今後も研究を継続・発展させていきたいと思っています。イカが大好きです。どうぞよろしくお願い致します。

## 谷村 吉隆

たにむら・よしたか

理論・計算分子科学研究領域  
理論・計算分子科学研究部門 客員教授

分子研を去って7年、久しぶりに分子研を訪れてみたら生協の店員さんが覚えていて「谷村先生お久しぶりです」と挨拶されてびっくりしました。教授会に可能な限り出席し、ありのままの分子研を見て伝える事が客員の使命かと思っています。(制度の意義も問うべき時かと思いますが) 教授会では静かにしておりますが、客員でないと言えない事もあると思いますので、必要な時はご指名ください。

## 中井 浩巳

なかい・ひろみ

理論・計算分子科学研究領域  
理論・計算分子科学研究部門 客員教授

平成22年4月より、理論・計算分子科学研究領域の客員教授を拝命しました。

本属は、早稲田大学理工学術院・教授です。

専門は、電子状態理論の基礎と実践の応用です。

様々な応用分野に興味を持っていますが、固体触媒や電極表面が関与する現象には長年取り組んでいます。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 兒玉 了祐

こだま・りょうすけ

光分子科学研究領域  
光分子科学第四研究部門 客員教授

大阪大学工学研究科で博士号を取得、オックスフォード大学、大阪大学レーザーエネルギー学研究センターを経て、平成17年大阪大学大学院工学研究科教授に着任し、平成22年4月より分子科学研究所客員教授を拝命しました。パワーレーザーを利用した高エネルギー密度科学に関する研究に従事しています。最近、高エネルギー密度固体である固体金属水素実現に向けた実験・理論研究や、真空と光の非線形相互作用に関する理論的研究に取り組んでいます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 太田 信廣

おおた・のぶひろ

物質分子科学研究領域  
物質分子科学研究部門 客員教授

東北大学で学位取得後、一年間のアメリカでの博士研究員を経て北海道大学に勤務し、現在当大学電子科学研究所に所属しておりますが、この4月から分子研の客員としてお世話になっております。最近、電気伝導度やイオン伝導度への光励起効果および電場効果に興味を持って調べています。分子研ではご協力を得ながら、「光誘起超伝導」に関して、その存在有無も含めていろいろと調べてみたいと思っております。

## 西原 寛

にしはら・ひろし

生命・錯体分子科学研究領域  
生命・錯体分子科学研究部門 客員教授

東京大学大学院理学系研究科化学専攻の無機化学研究室を担当しています。専門は錯体化学、電気化学、光化学で、面白い構造や物性を示す新しい物質の創製とそれらの物質を組み合わせて電極基板上に配列した系の特性を調べています。分子研に籍をいただいた機会を生かして、合成、構造、物性、理論の研究者の皆様との熱いディスカッションと独創的な共同研究をお願いいたします。

## 西山 桂

にしやま・かつら

理論・計算分子科学研究領域  
理論・計算分子科学研究部門 客員准教授



大阪大学大学院基礎工学研究科退学後、同大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー助手、同大学院学位取得を経て現在の本務である島根大学教育学部に移り、平成22年4月より分子研客員教員として着任いたしました。本務先では主として機能性希土類ナノ構造体や有機ナノゲルの合成研究を行っています。分子研では溶液系における統計力学理論の基礎研究を進めることで、本務での実験にもフィードバックできるような展開を目指しています。よろしくお願いいたします。

## 上野 貢生

うえの・こうせい

光分子科学研究領域  
光分子科学第四研究部門 客員准教授



北海道大学電子科学研究所の助手・助教・特任准教授を経て、平成21年に同研究所附属ナノテクノロジー研究センターの准教授に着任し、本年4月より分子研客員准教授を拝命しました。研究は、金属ナノ構造が示す光電場増強効果や光をナノメートルの領域に局在化させる機能を利用して、ナノ光リソグラフィーや高密度光記録、或いはテラヘルツ帯域の光センサーの構築など種々の光科学技術への応用展開について取り組んでいます。よろしくお願いいたします。

## 高橋 俊晴

たかはし・としはる

光分子科学研究領域  
光分子科学第四研究部門 客員准教授



東北大理学研究科博士課程を修了後、京大原子炉実験所に入所し、電子加速器を使ったミリ波・テラヘルツ領域の高輝度光源開発や分光研究に携わっています。院生当時、共同利用で実験の厳しさと楽しさを教わったUVSORに客員准教授としてお世話になる中で、量子ビームプロジェクトのユニークな光源の特徴を生かした研究、新しい発見ができればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## 上野 隆史

うえの・たかふみ

生命・錯体分子科学研究領域  
生命錯体分子科学研究部門 客員准教授



2000年から2002年の間、分子研で助手として勤務した後、国内、海外を転々として再び戻ってくる事となりました。改めてよろしくお願いいたします。いろいろな研究機関で仕事をしていると、分子研がいかに恵まれた研究環境であるかを痛感します。様々な分野のトップレベルが集まる分子研のメリットを生かし、新しい融合分野の開拓に挑戦していきたいと思えます。

## 大山 大

おおやま・だい

生命・錯体分子科学研究領域  
生命錯体分子科学研究部門 客員准教授



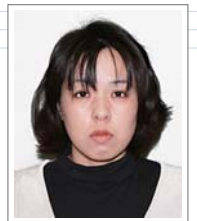
平成22年4月より、生命錯体分子科学研究部門に客員准教授として加わりました。本務地は福島大学共生システム理工学類です。さまざまな金属錯体を利用して、地球上に豊富に存在する物質からエネルギー資源への変換を目指した研究を行っています。

これまで、分子研とは協力研究を通して長く関わっており、山手に移転する前からいろいろとお世話になっていますが、今後も引き続きよろしくお願いいたします。

## 福富 幸代

ふくとみ・ゆきよ

物質分子科学研究領域  
電子構造研究部門 技術支援員



4月1日より、分子研電子構造部門唯Gでお世話になっています。長い主婦生活から、社会生活復帰に向けた第1歩を歩き始めたところです。勉強不足、経験不足のためご迷惑をおかけしつつの社会復帰ですが、徐々にとけこんでいきたいと思えます。

よろしくお願いいたします。

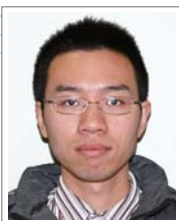


NEW STAFF

## 新人自己紹介

## 王 飛

WANG, Fei

物質分子科学研究領域  
電子構造研究部門 技術支援員

中国の福州大学で学士の学位を取得後、2010年4月1日より唯Gで技術支援員として触媒の実験・研究の補助をしています。まだまだわからないことだらけですが、毎日一杯頑張っ、いろいろな知識と技術を身につけたいです。

新たな気持ちで触媒化学の研究を行いたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 杉 戸 正 治

すぎと・しょうじ

技術課  
特定技術職員

今春、核融合科学研究所を定年退職し、休む間もなく分子科学研究所装置開発室で、お世話になっております。職人の世界に飛び込んで早40年過ぎてしまいましたが、装置開発室における私は、まだまだ職工、今は何の研究機器部品なのかかわからずモノ作りに挑戦していますが、徐々に覚え、また先輩方々の手腕を盗み取り、これまでの私の技量を以って分子科学研究の機器開発装置の部品製作に取り組んでいきます。

スポーツ：三日坊主のウォーキング

趣味：クッキング

## 新 村 祐 介

しんむら・ゆうすけ

分子スケールナノサイエンスセンター  
ナノ分子科学研究部門 研究員

広島大学にて修士課程を修了後、平成22年4月より分子スケールナノサイエンスセンター平本グループに派遣研究員として加わりました。

現在、先生方のご指導のもと有機薄膜太陽電池に関する研究を行っております。不慣れな点多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

## 久 保 雅 之

くぼ・まさゆき

分子スケールナノサイエンスセンター  
ナノ分子科学研究部門 研究員

昨年度、大学卒業後、アウトソーシングの企業に就職し、平成22年4月より分子スケールナノサイエンスセンター平本Gに着任致しました。大学では色素増感太陽電池を、分子研では有機太陽電池を研究させて頂いているので、様々な太陽電池の研究ができて大変充実しております。

分子研でも、社会人の研究者としても1年目なので、どんなことにも挑戦し、研究していきたいです。よろしくお願いいたします。

## 澤 井 仁 美

さわい・ひとみ

岡崎統合バイオサイエンスセンター  
戦略的方法論研究領域 特任助教

2006年4月からIMSフェローそして日本学術振興会特別研究員として、青野グループにて金属蛋白質の構造機能解析に従事してきました。本年度からは特任助教として、引き続き同グループにて新たな気持ちで研究を進めています。

岡崎統合バイオサイエンスセンターでの勤務は5年目になりますが、恵まれた研究環境を生かしてたくさん良い成果が挙げられるよう頑張りますので、今後も見守って下さい。

## 伊 藤 暁

いとう・さとる

理論・計算分子科学研究領域  
計算分子科学研究部門 助教

総研大博士課程修了後、名古屋大学、アメリカ国立衛生研究所博士研究員を経て、本年6月より奥村グループの助教としてお世話になっております。

久々の分子研ではありますが、初心にかえり頑張っ参る所存ですので、よろしくお願いいたします。